



宇田川元一教授による経営実践講座

「経営するとはどういうことか」

～ 企業の中で起こることの扱い方を実践的に学ぶ ～

「こうしたら売上が上がる、コストが下がる、経営がうまくいく」こういう情報が現代は氾濫しています。経営者は、そういった経営手法を片っ端から取り入れて試していくという選択肢も当然取りえます。しかしながら、一時的にうまくいったとしても、一時しのぎの対症的治療、外科的な治療であったとしたら、企業として健康な状態に近づいていくことは、難しいでしょう。

そもそも、経営とは、問題と矛盾の連続です。逆に言えば、問題や矛盾というものが、その企業の存在理由と表裏となっていることがあります。したがって、問題や矛盾は、「解決するもの」「解消するもの」というよりは、「付き合っていくもの」と考えた方が、実は実践的なのではないのでしょうか。

本講座では、経営者がぶつかる様々な問題や現象を、そもそもどう経営者が取り扱っていったらよいのか？それらの問題や現象の実践的な扱い方や関わり方を、講座内部の交流も含めて学んでいきます。（埼玉大学 経済経営系大学院教授 宇田川元一）



日程・時間（全4回）

10月31日（土）9:00～12:00

11月14日（土）9:00～12:00

12月12日（土）9:00～12:00

1月16日（土）9:00～12:00

会場

まるまるひがしにほん (<https://marumaru-higashinihon.jp/access>)

〒330-0846

埼玉県さいたま市大宮区大門町1-6-1 2F ビジネス交流サロン

【アクセス】大宮駅東口より 徒歩1分

講座料金（税込）

1社2名まで 50万円

1社3名の場合 60万円

* 1社4名以上は応相談となります

講座内容

1日目：『企業変革のジレンマ』を通じて経営の世界に入り込む①

2日目：『企業変革のジレンマ』を通じて経営の世界に入り込む②

3日目：実際の経営の問題を対話的に掘り下げる

4日目：経営で起こることをどう取り扱っていきたいのか 対話とまとめ

事前学習

宇田川元一著『企業変革のジレンマ』『他者と働く』の通読（※事前学習用の書籍は無料で提供します）

『企業変革のジレンマ』は担当別にパートを割り振り、1日目、2日目に要約を発表いただきます。

申込情報

①以下の登録フォームまたは右のQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/cPVDpTAnuySUgXv66>②フォームでのお申込み後、事務局（info@correspondence.co.jp）より講座料金についてご連絡をさせていただきます。

③講座料金のお支払い確認後、受講に関する詳細ご案内メールを送付いたします。

主催 コレスポデンス： | お問い合わせ（担当：佐藤、佐々木）：info@correspondence.co.jp

本講座の学習進行と効果

①講座の前半

「企業変革のジレンマ」輪読を通じて、会社経営で起こっていることを「他者の目を通じて見る」「分け入ってよく見る」ことに慣れていく

経営者は無意識のうちに、普段慣れているものの見方でしか自社を見ることができていない
→数字でしか物事を見られない、部分最適になってしまって会社全体が構造的無能力化に陥る

自分で読んだだけではわからない「企業変革のジレンマ」に込められた余白やコンテクストを他企業の経営者と共に読み合うことによって「事象に分け入って観察する」ことに慣れる



②講座の後半

「分け入ってよく見る」やり方で改めて自社／他社の経営で起こっているリアルな事象を扱ってみる



<目指す効果>

- 企業や経営について、自分がそれまで思い込んでいたよりも多角的な見方、捉え方ができることに気づく
- 他者の経営や事業の捉え方をすると、自分がこうだと思い込んでいたことが、また別の見え方をする、それにより経営の判断も変わることを体感する
- 自社に起こっていることを、より「分け入って」扱えるようになる